

請願第23号

放課後や休暇中の子供の居場所に対する支援の充実に関する請願

1 要 旨

子供たちが放課後や休暇中に、安全で安心して過ごせる居場所の充実を求める。特に児童館や放課後児童クラブ等の、施設の充実とスタッフの増配置に向けての支援を求める。

2 理 由

近年、福井県での放課後児童クラブ登録児童数がふえている。2014年は8,007人、2015年は8,694人、2016年は9,998人で、2015年から2016年にかけては1,304人増と急増している。核家族がふえたことや、祖父母世代がまだ仕事をしているため、3世代同居でも児童クラブを利用する児童がふえたことが理由として考えられる。この現状に、環境整備や人的配置が追いつかず、既存の児童館や児童クラブでは対応できないため、学校の図書室や家庭科室、長期休暇中は普通教室までもが児童クラブとして使われている。しかしながら、場所が狭く、子供がのびのび過ごすことができない、また、午後の授業で特別教室が使えないという弊害も起きている。

学校生活で精一杯活動して疲れた子供が、放課後や休暇中を安心して過ごせる居場所を確保するため、施設の充実やスタッフの増員が必要であり、県からの支援が望まれる。

3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 橘英亜機

4 紹 介 議 員

山本正雄、糀谷好晃、中井玲子、細川かをり、井ノ部航太

5 受 理 年 月 日

平成29年11月20日